

第1回 稲造サミット・札幌

「友あり、遠方より来たる。」



INAZO SUMMIT EZO

Sapporo Hokkaido Japan

2017.11.25 [sat] 13:00-17:00

Sapporo Prince Hotel PAMIR

札幌プリンスホテル国際館パミール 3F 札幌市中央区南2条西11丁目

・参加費 2,000円 チケット販売所 / 大丸プレイガイド・道新プレイガイド ・懇親会 17:30~ (参加費 6,000円)

・お問い合わせ / 実行委員会 (宮澤) 090-2811-7378

主催:「新渡戸稲造と札幌遠友夜学校を考える会」・「遠友みらい塾」 後援:北海道・札幌市・札幌市教育委員会・北海道新聞社 協力:NPO北海道 club

「交流の時間」 13時〜

お集まりの皆様 ご歓談ください。

「基調講演」 13時30〜

・ 遠友みらい塾・塾長 寺島実郎氏

「新渡戸稲造とは何かー現代に生きるそのメッセージ」

「活動報告」 14時45〜

- ・ 杉山 龍 (ブリテイッシュコロロンビア大学「UBC」Niobe Garden キュレーター)
- ・ 丸山 勇 (公益財団法人国際文化会館 常勤理事 「新渡戸国際塾」)
- ・ 藤井 茂 (一般財団法人新渡戸基金 常務理事)
- ・ 藤田 正二 (平成遠友夜学校 代表、北海道大学名誉教授)
- ・ 工藤 慶二 (札幌遠友塾自主夜間中学元代表)
- ・ ほか

* 順不同、敬称略



[遠友夜学校]

1894年(明治27年)新渡戸稲造・萬里子夫人(メリー・P・エルキントン)夫妻によって設立された学校です。この夜学校は、1944年(昭和19年)閉校しましたが、学校に行きたくとも様々な事情で就学出来ない児童のために作られたものです。この学校は「学問より実行」を教育の根本におき、一般教科目は勿論ですが、特に教育に徳育を重視し、他の人への思いやりを持った人間を育てるのが大きな特色でした。学校は社会事業に深い理解を持つ人々の寄付金を中心に運営され、教師も北大の学生が新渡戸博士の意志を引き継いで代々無給で奉仕してきました。札幌におけるボランティア活動の原点でもありました。

[新渡戸稲造と萬里子夫人]

札幌農学校を卒業した新渡戸稲造は1884年(明治17年)アメリカに留学、1891年(明治24年)帰国して、札幌農学校の教授に就任しました。萬里子夫人の実家から届けられた1,000ドルの遺産を原資に夜学校が創設されました。

